



# 富津市

## 新環境センター再検討

### 24年度重点取り組み事項

富津市は、2024年度の重点取り組み事項を決定し、23日に公表した。市民部および同部環境保全課は、24年度からの新規事項として、新環境センター施設整備の再検討を行う。また、全庁共通で東京湾口道路建設促進に努めるほか、建設経済部および同部都市政策課は、東京湾口道路建設促進に係る期成同盟会の立ち上げと要望活動に取り組む。

新環境センターに關しては、23年6月に一般廃棄物処理施設整備基本構想を策定。建設工事費に約30・9億・5億円を概算し、25年度の施設整備事業者選定を経て26年度と27年度に建設工事を進め28年度の稼働開始を目指すとしていたが、物価の高騰や他の市有施設の更新などとの兼ね合いから施設規模、事業費、スケジュールなどを実情に則したものとすべく、構想の見直しを進めている。

そのほか▽既存建築物など

富津市は、2024年度の重点取り組み事項を決定し、23日に公表した。市民部および同部環境保全課は、24年度からの新規事項として、新環境センター施設整備の再検討を行う。また、全庁共通で東京湾口道路建設促進に努めるほか、建設経済部および同部都市政策課は、東京湾口道路建設促進に係る期成同盟会の立ち上げと要望活動に取り組む。

新環境センターの施設整備は、環境センター（不燃物処理施設）の老朽化などに伴うもの。建設候補地は、新富地区のクリーンセ

### 検討する。

給水は井戸水により行う。汚水は敷地内で合併浄化槽により処理。処理後の汚水および雨水とも、調整池を経由して畑沢川へ放流する。

計画地には幅員6m以上の通路を整備。車両の円滑

どの総合的な安全対策（建設経済部、都市政策課）▽市民ふれあい公園に係る整備の実施と利活用の検討（同）▽特定の施設整備に係る基金設置に向けた調整

（総務部、財政課）▽本庁舎照明のLED化など脱炭素化の取り組みの推進（総務部、管財契約検査課）▽小中学校照明LED化事業の実施（教育部、教育総務

課）▽小中学校防犯カメラ設置工事の実施（教育部、教育総務課）▽旧学校体育施設活用に向けての調査検討（教育部、生涯学習課）などを挙げた。

重点取り組み事項は、市長と各部長・課長が政策協議を経て決定するもので、「重点課題」と「基本姿勢」を年度ごとに明らかにする。

## 適正価格が大命題

### 団結し経営基盤強固に

千葉県コンクリート製品協同組合の第56回通常総会および懇親会が24日、千葉市内の京成ホテルミラマーレで開かれた。8階「カトレア」における通常総会では、2024年度事業計画など4議案を審議し、全会一致で可決された。同階「オーキッド」で開かれた懇親会で寺田裕之理事長（株アラコン）は、資材価格や輸送費の高騰など近年の景況に触れ、「今期も価格改定が必要な厳しい状況」と話し、「インフレ時代の適正価格」を大命題とし、経営基盤を強固にする意味でも、組合の存在意義は深い」とまとめた。

来賓祝辞に立った斎藤清・千葉県中小企業団体中央会事務局長は「中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい」との見解を示し、国の中小企業省力化投資補



助事業について説明。「中小企業への最大限の支援を行うべく、随時、情報提供していきたい」と話した。乾杯の発声は、武井厚・関東コンクリート製品協会副会長が務めた。

24年度の事業計画においては、販売価格の適正化のための事業、共同購買・受注販売事業、新製品・新技術の開発事業、社会貢献事業



武井副会長が乾杯の発声を務めた

## 清掃活動



京葉建設業協同組合ほか有志5団体など約160人は26日、市川市内の江戸川



河川敷で「江戸川クリーン作戦」として清掃活動を展開した。京葉建設業協同組合の田口孝一代表理事（千東建設）は、建設業について「インフラ整備だけでなく、いざというときには地域の守り手としての貢献が求められている」との

ごみの中には自転車のタイヤもあった

市川市内では全7班が清掃活動を実施し、当該グループは4班として、江戸川河川敷野球場第5グラウンド